

もくじ

- ・ はなさかじいさん

はなさかじいさん

げんさく 原作：
にほん むかしばなし 日本のお話

イラスト： ちひろ

へんしゅう 編集：
YellowBirdProject

むかしむかし、あるところに、たいへん^{しょうじきもの}正直者の、おじいさんとおばあさんが^す住んでいました。

ある日、おじいさんが川で^{かわ さかな つ}魚を釣っていると、^{かわかみ き はこ なが}川上から、木でできた箱が流れてきました。

おじいさんが^{はこ ひろ あ なか}箱を拾い上げ、中をのぞいてみると、そこには^{ま しろ こいぬ すわ}真っ白な子犬がちょこんと座っていました。おじいさんは^{こいぬ ひろ あ いえ つ かえ}子犬を拾い上げて、家に連れて帰りました。

おじいさんとおばあさんは、^{こいぬ}子犬を『シロ』と^{なづ}名付けて、^{いえ か}家で飼うことにしました。



おじいさんが畑はたけしごと仕事あいだをしている間となり、シロは隣の
原はらっぱで、元げんき気に走はしり回まわっていました。

ある日ひ、おじいさんがいつものように畑はたけしごと仕事を
始はじめると、なぜかその日ひに限かぎって、シロが畑はたけの一角いっかく
に立たち止どまり、何なんど度も大おお声ごえでほえていました。
不ふ思し議ぎに思おもったおじいさんは、その場ばしょ所にクワを
入いれてみました。

するとどうでしょう！土つちの中なかから、大おお判ばん・小こ判ばん、
他ほかにも高こう価かなお宝たからがたたくさん出でてきたのです。
おじいさんが、掘ほり出だしたお宝たからを家いえに持もって帰かえる
と、おばあさんこしも腰ぬを抜ぬかしておどろきました。

